

2018 年度 春季中部学生ヨット選手権大会

開 催 地：愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバー沖

大会期間：平成30年3月24日（土）～平成30年3月25日（日）

共同主催：中部学生ヨット連盟 愛知県ヨット連盟

協 力：豊田自動織機 海陽ヨットハーバー

レース公示

1. 規 則

- (1) 本大会には、以下の規則を適用する。但し、いずれも本大会帆走指示書により追加もしくは変更されたものを除く。
- (2) 本大会には、2017～2020「セーリング競技規則」（以下、RRS という）に定められた規則を適用する。
- (3) 本大会には、470 クラス学連申し合わせ事項、スナイプクラス学連申し合わせ事項、全日本学生ヨット連盟規約を適用する。但し、SCIRA 規則公認レガッタの運営規則は除きスナイプクラス国内規則に準ずるものとする。

2. 競技種目

国際 470 クラス・国際スナイプクラス

3. 日 程

- (1) 3月24日（土）
- (2) 受付 8:30～8:50
- (3) 開会式 9:00～

1日目 第1レース（スタート予告信号時刻）

国際 470 クラス・国際スナイプクラス 10:00

* 1日目第1レース終了後、以降のレースを順次行う

- (4) 3月25日（日）

2日目 第1レース（スタート予告信号時刻）

国際 470 クラス・国際スナイプクラス 9:30

* 2日目第1レース終了後、以降のレースを順次行う

最終レース終了後 表彰式、閉会式

- ・天候その他の事情により、競技日程はレース委員会において変更することがある。
- ・他のレースについては各クラス終了後、随時行うものとする。
- ・1日目は、15:01以降、2日目は13:01以降のスタートは行わない。
- ・本大会のレース回数は最大10レースとする。

4. 参加資格と参加条件

- (1) 本大会エントリー表に登録済みであること。
- (2) 2017年度(財)日本セーリング連盟会員であること。
- (3) 国際スナイプクラスの乗員(ヘルムスマン、クルー共に)は2017年度SCIRA登録済みであること。
- (4) 本大会に参加するチームは、参加申込書を締め切りまでに提出していること。
- (5) 艇は1チーム3艇とし、セールは各クラスとも1チーム3セットとする。
- (6) 監督、コーチは(財)日本セーリング連盟会員であること。
- (7) 豊田自動織機海陽ヨットハーバー等が主催する2018年度のレスキュー訓練・安全講習会等に大学内で1名以上参加していること。
- (8) JSAFが実施する以下のバッチテストを取得していること。
ヨット部2年目までは初級以上保有
3年目以上は中級以上保有
- (9) バッチテスト未保有者は、3月18日に愛知県ヨット連盟が主催するバッチテストを受験していること。

5. 参加料

国際470クラス・スナイプクラス 1艇 ¥15,000円とする。
但し、3艇エントリーチームは、30,000円とする。

6. 艇

- (1) 艇は原則として自己所有艇とする。またチャーター艇も可とする。
- (2) 艇は2017年度団体登録を済ませた艇であること。
- (3) 国際スナイプクラスは2017年度SCIRA登録を済ませた艇であること。

7. セール

- (1) 各チームが持参したセールを使用すること。
- (2) チャーター艇についても各チームが持参したセールを使用すること。
- (3) JSAFが認めた公式計測員が平成29年に計測をしたことを証明することができるセールを使用すること。
- (4) 同一のセールナンバー(ダッシュが付いているナンバーも)を同時に使用してはならない。
- (5) 国際470クラスはメインセールとスピナーカーは同一ナンバーでなければならない。

8. コース

コースは、上下のコースとする。

9. 参加申し込み

(1) 参加申込書、エントリー表の送付および参加費の振り込みを3月17(土)までに行う事により申し込みとする。申込期限以降の申し込みについては、50%のレートエントリー費を支払う事でエントリーを認める。エントリー表は、Excel形式で申し込むこと。

(2) 送付先

郵便番号 460-0017

住 所 愛知県名古屋市中区松原 1-4-26 ピボット

ヴァンベール 606 号室

氏 名 真野 創太

電話番号 080-3062-2655

E-mail: chubu_icyf@yahoo.co.jp

(3) 振込先

三菱東京UFJ銀行 松阪支店 店番532 普通0090156

中部学生ヨット連盟 会長 石倉 俊宏

10. 帆走指示書の交付

平成30年3月19日(月)までに愛知県ヨット連盟および中部学生ヨット連盟ホームページへ掲載する。<http://www.ayf.jp/school/>

11. 得点

(1) クラス別のチーム順位は、実施された全てのレースについて、チームごとに全ての得点を加算し、総得点の少ないチームを上位とする。

これはRRS付則A2を変更している。

(2) 総合のチーム順位は、両クラスとも本大会に出場したチームのうち、両クラスの本大会の全ての得点を加算し、総得点の少ないチームを上位とする。

(3) タイについては、RRS付則A8を適用する。但し、RRS付則A8記載の「艇」を「チーム」と読み替えた上で適用する。

(4) 本大会は各クラス有効1レースにて成立する。

12. 安全規定

国際スナイプクラスは下記安全装備を搭載し、何時でも使用できるようにしておかなければならない。

曳船用ロープ(直径8mm以上、長さ10m以上)

13. 受付

参加大学は受付時に次の書類を提出することにより受付を完了させなければならない。ただし、2017年中部学生ヨット連盟主催大会において提出済みであれば提出を省略できる

- (1) 日本セーリング連盟会員証。
- (2) 国際470クラスは計測登録証明書及びINTERNATIONAL 470CLASS MEASUREMENTFORMを、国際スナイプクラスは計測証明書。
- (3) 国際スナイプクラスの乗員（ヘルムスマン、クルー共に）はSCIRA登録会員証。
- (4) JSAFが認めた公式計測員が平成29年に艇、セールを計測し承認した証左。

14. 賞

賞は次のように与えられる。

各クラス・総合	賞状1位～3位
総合優勝	優勝旗

15. 支援艇・応援艇[DP]

1. 支援艇・応援艇とは、監督、コーチ、その他の支援要員及びチームを支援・応援する関係者が乗艇する全ての艇を指す。
2. 豊田自動織機海陽ヨットハーバー内では、支援艇・応援艇は、主催団体が指定する桟橋以外に係留してはならない。
3. 支援艇・応援艇は、レース委員会及びプロテスト委員会がコース設定等に使用する無線を傍受してはならない。
4. 支援艇・応援艇は、出艇時にレース委員会から指定される無線機を受け取らなければいけない。また、常時その無線を傍受し呼び出された場合は応答しなければいけない。
5. 支援艇・応援艇は、レース委員会よりレスキュー要請を受けた場合は、対応しなければならない。

16. 免責

RRS4に基づき競技者は自分自身の責任で大会に参加するものとする。

主催団体は大会前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

17. その他

特別な理由がある場合を除き、本レースに不参加のチームは、2017年度秋季中部学生ヨット選手権大会に出場し上位成績を取得しても第83回全日本学生ヨット選手権大会に推薦されない。

18. 連絡先

氏 名 : 真野 創太 電話番号 : 080-3062-2655 E-mail: chubu_icyf@yahoo.co.jp